

# 平成 29 年度細胞検査士会 定時総会議案書

日時：第 58 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）  
2017 年 5 月 27 日（土） 14：50～15：50  
場所：大阪国際会議場 10 階 1003

## I. 開会

## II. 会長あいさつ

## III. 報告事項

- |  |     |
|--|-----|
| 1. 物故会員  | p 1 |
| 2. 平成 29-30 年度役員選挙   | p 1 |
| 3. 規則類の変更<br>「役員会運営に関する細則」「役員選任に関する細則」「委員会に関する細則」<br>「委員会業務分担要綱」 | p 2 |
| 4. その他   | p 3 |

## IV. 議案

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 1 号議案：平成 28 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 | p 4 |
| 2 号議案：平成 29 年度事業計画及び予算書        | p17 |
| 3 号議案：監事の選任                    | p23 |

## V. 閉会

## I. 開会

## II. 会長あいさつ

## III. 報告事項

### 1. 物故会委員

鎗田 彌一（やりた やいち） 殿 CT2067

### 2. 平成29-30年度役員選挙

「平成29-30年度役員選挙実施要綱」にしたがって、選挙管理委員会によって平成29-30年度細胞検査士会役員の出選が行われた。

幹事当選者、平成 28 年 11 月 8 日、あいうえお順

安達 博成	阿部 英二	阿部 仁	石井 保吉	伊藤 仁	遠藤 浩之
及川 洋恵	片山 博徳	河原 明彦	小林 幸弘	小松 京子	小山 芳徳
澁木 康雄	竹中 明美	田路 英作	仲村 武	南部 雅美	野崎 正行
畠 榮	服部 学	羽原 利幸	原田 仁稔	平田 哲士	藤井 和晃
古田 則行	丸田 淳子	三浦 弘守	三宅 真司	山本 秀巨	横山 俊朗

選挙人 258 名中、251 通、1756 票が有効

上位 30 名を選出（無効票：50）

会長当選者、平成 29 年 2 月 28 日

伊藤 仁

無投票当選

副会長当選者、平成 29 年 2 月 28 日、あいうえお順

小松 京子

三宅 真司

選挙人 262 名中、254 通、508 票が有効

上位 2 名を選出

（三宅 真司 161 票、小松 京子 153 票、羽原 利幸 106 票、山本 秀巨 88 票）

### 3. 規則類の変更

#### 1) 「役員会運営に関する細則」の変更

旧	新
第 6 条（議長） 役員会の議長は会長が指名する。	第 6 条（議長） 1. 役員会の議長は会長が指名する。 2. 第 5 条 2 における議長は総務委員会が担当する。 3. 議長は、構成員の発言が会議の品位をきずつけ、または議事妨害であると認めるときは注意しなければならない。なお従わない場合は発言を禁止することができる。
第 8 条（常時の連絡） 2. 本会は、電子的通信手段として役員会専用のメーリングリスト（ML）等を設置することができる。 <del>その運用・管理は庶務委員会が担当する。</del>	第 8 条（常時の連絡） 2. 本会は、電子的通信手段として役員会専用のメーリングリスト（ML）等を設置することができる。
	附則 3. 平成 29 年 5 月 26 日 一部改定施行。

#### 2) 「役員選任に関する細則」の変更

旧	新
第 2 条（役員） 役員とは、会長、副会長、幹事および監事をいい、 <del>任期中は原則的に本法人正会員であるものとする。</del>	第 2 条（役員） 役員とは、会長、副会長、幹事および監事をいい、本法人正会員でなければならない。
	附則 6. 平成 29 年 5 月 26 日 一部改定施行。

#### 3) 「委員会に関する細則」の変更

旧	新
第 7 条（構成） 3. 委員会構成員は <del>原則的に</del> 本法人正会員でなければならない。	第 7 条（構成） 3. 委員会構成員は本法人正会員でなければならない
	附則 5. 平成 29 年 11 月 17 日 一部改定施行。

4) 「委員会業務分担要綱」の変更（附則追加）

旧	新
	附則 8. 平成 29 年 5 月 26 日 一部改定施行. 子宮頸がん検診委員会をがん検診委員会に変更する. （1）がん検診に関する調査研究 （2）がん検診受診への啓発活動 （3）期間は平成 30 年度までとする

4. その他

#### IV. 議案

1号議案：平成28年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

平成 29 年 4 月

## 細胞検査士会 平成28年度事業報告及びこれに伴う収支決算書

公益社団法人日本臨床細胞学会

細胞検査士会会長 伊藤 仁

## 【平成 28 年度事業報告】

### 1. 会長

本年は、2 年に一度行われる細胞検査士会役員選挙および日本臨床細胞学会理事選挙の年であった。また、2016 年 5 月 28 日(土)~6 月 1 日(水)、パシフィコ横浜において国際細胞学会が春期大会とほぼ同時並行で開催された。参加者総数 6,105 名(海外からの参加者数 728 名)、参加国数 66 か国、国際細胞学会演題数 637 題、春期大会演題 403 題で、細胞検査士会としても積極的にサポートし、盛会裏に終了した。

来年度は細胞検査士会創立 50 周年という大きな節目の年となるが、秋期大会時に開催される記念事業の準備が本格的に動き出した。記念式典・祝賀会、細胞診と細胞検査士展、記念誌発行という大きな事業の準備が着実に進みつつあり、その成功に向けて細胞検査士会一丸で取り組んでいるところである。

#### 1) 細胞検査士会役員選挙

平成 28 年 8 月 8 日、麻生晃委員長と 7 名の委員による選挙管理委員会が設置され、平成 29 年度~30 年度の細胞検査士会役員選挙が行われた。幹事選挙は平成 28 年 11 月 5 日開票が行われ、立候補者 38 名のうち、30 名が選出された。引き続き会長、副会長選挙が行われ、会長立候補者は伊藤仁 1 名で無投票当選、副会長立候補者は 4 名で、平成 29 年 2 月 26 日開票の結果、三宅真司氏、小松京子氏が選出された。

日本臨床細胞学会の公益社団法人化により各都道府県細胞検査士会が建前的には別組織になったが、前回の役員選挙同様、各都道府県細胞検査士会のご協力により、役員選挙が滞りなく行われた。多忙な中、大変な実務作業を行った麻生晃委員長をはじめとする選挙管理委員会および各都道府県細胞検査士会の皆様方のご協力で心より御礼を申し上げる。

#### 2) 日本臨床細胞学会評議員選出および理事選挙

細胞検査士会役員選挙とほぼ並行して、平成 29 年度~30 年度の日本臨床細胞学会評議員選出、理事選挙が行われた。評議員は業績順に 455 名(正会員の 8%以内)が選出され、そのうち細胞検査士は 94 名であった。引き続き行われた理事選挙で 21 名の理事(全国区)が選出され、引き続き地方区理事選挙で 13 名の理事が選出された。全国区で当選した 21 名の理事のうち、細胞検査士は 3 名で、前同様、伊藤仁、小松京子氏、石井保吉氏の 3 名の細胞検査士が当選した。公益社団法人化以前の細胞検査士理事は、理事長推薦理事として細胞検査士会会長と副会長が宛職的に任命されてきたが、前回の選挙から正会員であれば同等の立場として学会運営に参画できるようになっている。細胞検査士評議員は前回に比べ大幅に増加したが、理事は全国区、地方区合わせて 34 名選出された中で、わずかに 3 名であり、学会運営の側面からはまだその第一歩を踏み出したに過ぎない。今後、さらに細胞検査士会が一丸となり、理事を輩出することが重要である。

#### 3) 日本臨床細胞学会における正会員・準会員について

2017 年 3 月 3 日現在、細胞検査士総数 7352 人、細胞検査士正会員 1036 人、正会員の割合はわずか細胞検査士全体 14%であり、2015 年 8 月時点からほぼ横ばいである。さらに、都道府県別細胞検査士正会員数をみると、細胞検査士正会員 0 名が 1 県、2 名が 3 県、4 名が 2 県、5 名が 4 県、正会員の割合が最も高い県で 23.7%、20%を超える県は 8 県のみであり、まだまだ細胞検査士正会員は少ない現状となっている。

平成 29 年 4 月より、研修活動の単位認定について、細胞診専門医または細胞検査士の資格取得 5 年以上経過した正会員 2 名以上が研修会の企画及び実施に関与すること、という規則が適用されたため、正会員の少ない県、特に正会員 0 名の県については、早急な対応が必要であると考え、これを機会に、一人でも多くの細胞検査士が正会員として登録していただければ幸いである。細胞検査士は日本臨床細胞学会の運営にもっと積極的に関与するべきであり、学会内での影響力・発言力を高めるためにもさまざまな機会を通じて、細胞検査士準会員の方々に正会員としての登録をお願いする次第である。

#### 4) 教育活動

2013 年第 66 回より、日本臨床細胞学会細胞検査士ワークショップの実施委員長を細胞検査士が務めるようになった。本年度も田上稔実施委員長が札幌で第 72 回ワークショップを、平田哲士実施委員長が千葉で第 73 回細胞検査士ワークショップを開催し、それぞれ盛会裏に終えた。細胞検査士教育セミナーおよび細胞検査士養成講習会（2 週間コース）は 2007 年から細胞検査士が実施委員長を務めており、今年も前者は第 71 回セミナーを片山博徳実施委員長および第 72 回セミナーを矢羽田一信実施委員長が担当し、後者は私が担当して開催された。現在、すべての事業が順調に企画・運営され、実績を確実に積み重ねつつある。しかしながら、関東の細胞検査士教育セミナーについては、参加者希望者の増加に伴い、現在使用している会場（日本教育会館一ツ橋ホール）では対応不可能となったため、毎年、同時期に確保可能な会場について検討した。横浜にある国際会議場パシフィコ横浜と交渉し、来年度以降パシフィコ横浜メインホールを使用する予定である。

#### 5) 公益活動

細胞検査士会が積極的に協力している Love49 による子宮頸がん検診の啓発事業に関して、一昨年から各都道府県の連携組織（各都道府県臨床細胞学会あるいは旧支部会）を通じて日本臨床細胞学会へ支援金（5 万円を上限とする）を申請できるようになった。この活動をするための一助となっており、たいへん喜ばしいことである。日本臨床細胞学会が行う事業はすべて公益事業と認められているが、その中でも全国の各都道府県細胞検査士会と細胞検査士会渉外委員会を中心とした本活動は、一般市民への直接的公益性が高い事業として引き続き積極的に推進し、検診の重要性について一般市民への啓発をますます活発化していく必要がある。来年度も 47 都道府県すべてが参加した啓発活動が予定されており、ますます活性化していくことが期待される。

#### 6) 委員会活動

委員会活動については、各委員長による詳細な報告があるので参照されたい。

最後に、2017 年、福岡で開催される第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会時、細胞検査士会創立 50 周年記念事業がいよいよ本番を迎える。50 周年という細胞検査士会創立以来最も大きな節目である。私たちは現在をしっかりとみつめ、そして次世代へ確実にバトンを繋がないといけない。多くの会員に出席していただき、盛会になるよう、会員の皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 2. 総務委員会

- 1) 第 1 回役員会議案書作成，議事進行
- 2) 細胞検査士会定時総会議案書作成，議事進行
- 3) みなし決議「細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱」の実施
- 4) 第 2 回役員会議案書作成，議事進行

- 5) 第1回委員長会議次第作成, 議事進行
- 6) 「平成29年度事業計画及びこれに伴う予算書」作成とMLでのみなし決議の実施
- 7) MLでの意見確認「みなし決議について」「総会について」「選挙について」での議事進行
- 8) 「平成28年度事業報告及びこれに伴う収支決算書」作成

### 3. 経理委員会

- 1) 平成29年度予算案作成
- 2) 平成28年度会計報告書の作成
  - ①各委員会の事業報告書, 収支報告書, 証拠書類(領収書等)の確認
  - ②監事による会計および業務監査会の実施
  - ③会計に関する資料および事業報告書, 業監査報告書を会長, 学会事務局へ報告
- 3) 各委員会会計実施の現状
  - ①立て替え金請求を実施した委員会  
本部会計, 経理委員会, 渉外委員会, 精度保証委員会, 編集委員会, 庶務委員会, 都道府県代表者委員会, 国際委員会, あり方委員会, 50周年記念事業準備委員会
  - ②仮払金請求を実施した委員会  
精度保証委員会(セルフアセスメント会議), (初心者WS:新潟), (養成WS:大阪, 東京)  
学術委員会(第1回・第2回WS)
  - ③学会から直接経費(請求金)を支払った委員会  
編集委員会, 本部会計, 子宮頸がん, 渉外委員会, 情報委員会, あり方委員会, 精度保証委員会, 学術委員会
- 4) 総括

法人化に伴い現在では, 現金の出納が学会事務局で実施されているため, 各委員長の手元に現金予算がない分, 立て替え金による処理などが多くなっており, 委員長の負担軽減を目指すべく今後の会計方法について更に検討していきたい。

今年度から, 学術委員会で細胞検査士会WS, 精度保証委員会においてセルフアセスメント会議, 細胞検査士養成WSが実施された。より良い会計の方策(利便性)を学会事務局とともに検討する必要がある。

50周年記念事業については, 専用の準備口座にて学会事務局で管理している。開催の具体的な予算は一般の会計とは別に管理し, 学会事務局および会計事務所と綿密に相談し, 計画的に会務を実施することが重要と考える。

### 4. 庶務委員会

- 1) 総会, 役員会, 委員長会議の開催と議事録作成
- 2) 総会, 役員会, 委員長会議の議事録作成と保管
- 3) 委嘱状/依頼状の発行: 講師, 委員会委員, 50周年記念事業会各委員, 都道府県代表者会議
- 4) 子宮の日趣意書の配信
- 5) 50周年記念事業趣意書の配布と協賛金・広告料の募集
- 6) 会印の管理, HPへの掲載依頼, 慶弔対応

## 5. 規約委員会

### 1) 平成 28 年度第 1 回細胞検査士会役員会（平成 28 年 5 月 27 日）にて

- ①「細胞検査士会創立 50 周年記念事業実施要綱」成立
- ②「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」成立

### 2) 平成 28 年度細胞検査士総会（平成 28 年 5 月 28 日）

「公益社団法人 日本臨床細胞学会細胞検査士会に関する施行細則」の附則の変更

### 3) 役員会みなし決議（平成 28 年 9 月 9 日）

「細胞検査士会平成 29-30 年度役員選挙実施要綱」成立

### 4) 子宮頸がん検診委員会からがん検診委員会への変更に関する検討

### 5) 総括

- ①役員会・総会にて承認された新規規則類の管理を行う。また、各委員会から要望される規則類の新規制定や改廃に当たり、細胞学会の定款、定款細則、施行細則などの規則類やその他制度との整合性を検討した上で役員会議題として提案していく。また、廃止となった旧規則類に代わるものとして、内規または申し合わせ事項を作成し、細胞検査士と細胞検査士会にとって、より良い規則類と制度を構築する。
- ⑥改廃しなければならない細胞検査士会の規則類が数多く残っている。今年度は十分に活動できたとは言えないのが現状である。今後も各委員会の協力を得て改正作業を進めていきたい。

## 6. 渉外委員会

### 1) 子宮の日の活動：2016 Love49 プロジェクト：ポケットティッシュ 5 万 5 千個作製し、 参加 47 都道府県細胞検査士会に配布。

### 2) 平成 27 年度細胞検査士会公益広報活動調査 4 月～10 月、回答率 98%

#### ①啓発・社会活動

2015 Love49 キャンペーン実施都道府県数：42 都道府県（89.0%）

総イベント数：96 イベント

参加者数：約 4,676 名（細胞検査士 1,245 名、臨床検査技師 285 名、医師 51 名、

その他「ピンクリボンキャンペーンなど」2,300 名）

#### ②育成・養成活動

開催数：127（複数開催した都道府県あり）

参加者数：約 3,605 名（細胞検査士 1,816 名、臨床検査技師 1,655 名、医師 103 名、

その他 31 名）

### 3) 子宮の日全国アクション 2016 報告会、第 57 回総会 5 月 28 日（土）9：00～10：30

細胞検査士と専門医から 5 演題を報告

### 4) LOVE49 キャンペーンのパネル展示、第 57 回総会（5 月）および第 55 回秋期大会（11 月）

子宮頸がん検診委員会と共同で実施

### 5) 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第 3 版」の配布

4 施設に 2,800 部数を郵送（4-10 月末）。印刷部数と郵送費がある限り随時継続予定

### 6) 第 12 回がん患者大集会の会場協力（10.月 9 日）

メインテーマ：「変えよう日本のがん医療、手をつなごう患者と家族たち」

メイン会場（秋田県）：秋田県児童会館 けやきシアター

サブ会場（東京都）：東京医科歯科大学医学部3号館3階 医学科講義室2

サテライト会場（兵庫県）：兵庫県民会館 303 号室

\*がん患者大集会における協力体制の手順

- ①NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会は、細胞検査士会へ後援依頼の文章を郵送する。
- ②細胞検査士会会長は、NPO 法人がん患者団体支援機構へ後援名義使用の承諾書を郵送（あるいは FAX）する。
- ③NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会は、細胞検査士会会長へ協力の要請を依頼する。
- ④細胞検査士会会長は、大会が開催される都道府県代表者へ協力を要請し、渉外委員会へ指示する。
- ⑤大会が開催される都道府県代表者は、NPO 法人がん患者団体支援機構実行委員会へ連絡し大会の準備を行う。
- ⑥渉外委員会は、大会が開催される都道府県代表者と共に大会内容の把握を行う。

7) Love49 プロジェクトの幟作成

2017Love49 全国キャンペーンに向けて新たに Love49 の幟作製を企画。幟デザインは細胞検査士会渉外委員会と子宮頸がんを考える市民の会で立案し、細胞検査士会役員会で承認。幟の規格、Love49 の幟と同じ、枚数：200、寸法：1,800 x 600 mm、文字：受けましょう、子宮頸がん検診 都道府県細胞検査士会への配布枚数

北海道	2	群馬県	3	静岡県	4	山口県	3	鹿児島県	5
青森県	2	埼玉県	3	愛知県	6	香川県	4	滋賀県	8
岩手県	2	千葉県	4	三重県	5	徳島県	2	愛媛県	8
秋田県	4	神奈川県	4	京都府	2	高知県	2	兵庫県	5
宮城県	2	山梨県	2	大阪府	2	福岡県	12	奈良県	4
新潟県	10	長野県	4	和歌山県	5	佐賀県	3	東京都	4
山形県	0	富山県	4	鳥取県	3	長崎県	2	沖縄県	8
福島県	2	石川県	4	島根県	0	熊本県	2		
茨城県	5	福井県	3	岡山県	4	大分県	0		
栃木県	4	岐阜県	4	広島県	9	宮崎県	0		

8) 2017 Love49 プロジェクトの準備（2016.12-2017.3）

- ①2017 Love49 キャンペーンの趣意書、会長へ要望し、庶務委員会から発行
- ②2017 年 4 月 9 日前後に、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に、都道府県担当者と ML を活用しながら日程把握・資材調整等の準備を行った。
- ③特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会は、2017Love49 全国アクションに関する後援を厚生労働省に申請して承諾され、本書写しは既に参加都道府県へ配布。
- ④2017 Love49 の参加希望は 47 都道府県
- ⑤2017 Love49 キャンペーンで配布する細胞検査士会オリジナルポケットティッシュ「受けましょう、子宮頸がん検診」を昨年と同様 6 万個作成予定。
- ⑥キティーちゃんカードの提供は、現時点では保留

9) 2017 LOVE49 報告会の準備（2016.12-2017.3）

第 58 回日本臨床細胞学会総会（大阪）にて実施予定

日時：2017 年 5 月 27 日（土）10：10～11：30（80 分）

会場：第 9 会場、テーマ：地域の活動状況と今後の取り組み

10) 総括

今年度の渉外委員会は、昨年度に引き続き学会時の Love49 報告会、パネル展示やがん患者大集会などへの参加協力を行った。子宮頸がん検診の啓発事業である Love49 キャンペーンでは、47 都道府県が参加した初めての活動となった。一方、幟や T シャツ等の不足という要望を受け、当会にお

いて啓発活動に使用する新デザインの幟を作製した。Love49 報告会やパネル展示は、年々多くの方々の参加が確認でき、活発な情報交換も行われるようになった。がん患者大集会では、昨年度伊藤会長と共に整備した連絡体制を実施し、3県による参加協力ができた。一方、課題である細胞検査士会HPにおけるLove49活動関連ページの充実が行えなかった。多くの会員または一般の方々がHPをみて、「細胞検査士会が伝えたいこと」を感じて頂けるHPを作っていきたいと考える。

## 7. 編集委員会

1) 編集委員会の会議：第59号発行の進捗確認および第60号の企画、第57回総会（横浜）にて

2) 細胞検査士会会報第59号、第60号発行

会報の発行時期を7月、12月に変更したが、12月発行予定が1月発行となった。発行半年前から企画検討に入り、執筆依頼、編集後に印刷会社に提出、出版、配送の手順となる。

3) 次年度の計画等

今年度は細胞検査士会創立50周年という節目の年を迎え、細胞検査士会会報も“特集”を組んで大々的に取り上げ、事業が成功に導かれるように会報を通じて各会員に配信していきたいと考えている。現在、細胞検査士会会報は唯一、会員の手元に届く紙ベースの雑誌であり、読みたい時に手に取って読むことができるという最大の利点を有しているため、今後も会員のニーズに応えながら、興味をもってもらえる会報作りに取り組んでいきたいと考えている。

## 8. 学術委員会

1) 細胞検査士教育セミナー実施協力（セルフアセスメント）

第71回細胞検査士教育セミナー（東京）8月27～28日

第72回細胞検査士教育セミナー（大阪）9月10～11日で実施

2) 細胞検査士会要望教育シンポジウム

第57回日本臨床細胞学会春期大会（横浜）5月27～29日

第55回日本臨床細胞学会秋期大会（大分）11月18～19日で実施

3) ヤングコミティワークショップ

第57回日本臨床細胞学会春期大会（横浜）5月27～29日

第55回日本臨床細胞学会秋期大会（大分）11月18～19日で実施

4) わからん会

第57回日本臨床細胞学会春期大会（横浜）5月27～29日で実施

5) 細胞検査士会ワークショップ

「口腔領域・子宮頸部の臨床、病理、細胞診断」

第1回平成29年2月25日(土)

第2回平成29年2月26日(日)

日本大学医学部基礎研究棟地下2階病理組織実習室にて実施

## 9. 国際委員会

①第8回日・台・韓細胞検査士合同セミナー

平成29年2月18日、台湾 宜蘭県羅東市、参加者：120名（日本28名、韓国23名）

平成28年2月台湾開催予定を変更しての開催

## ②第9回日・台・韓細胞検査士合同セミナー予定

平成30年2月24日 日本 熊本市（韓国開催予定を変更）

### 10. 情報委員会

目標：検査士会が企画した研修会や行事あるいは各委員長からの依頼事項を掲載する。また外部施設より依頼のある求人情報を会員へ迅速に掲載してお知らせすることを目的として活動する。

#### 1) ctjsc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用，Word Press を用いて管理

①新着情報，研修会案内，細胞委検査士総会の案内などを掲載

情報委員会専用 ML<ct\_jyouhou@ctjsc.com>にて掲載を指示

②求人情報の掲載管理：求人情報掲載専用 ML<ctjob\_offer@ctjsc.com>を用いて掲載

上記の情報委員会専用 ML にて，各担当者の業務指示を実施

#### 2) intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）CMS システムの構築

これまで停止していたインターネットサイトロジーを平成27年10月より細胞診の学習サイトとしてリニューアル構築した。

#### 3) 新 ML 管理運用を開始

①都道府県代表者 ML 運用開始

旧 ML<todoufukun@sl.sakura.ne.jp> ⇒新 ML<ct\_todoufukun@ctjsc.com>

平成27年4月から6月までテスト運用し，7月から本稼働した。

②50周年記念事業委員会のメーリングリストの運用開始

③役員会会議 ML の運用開始

新サーバーでの運用では，下記の理由により登録アドレスは，Yahoo アドレスの使用を禁じた。

Yahoo アドレスは，当会 ML では，メールの受信はできるが，返信ではじかれる事が判明。

#### 4) 平成29-30年度 役員選挙に関する選挙管理委員会からのお知らせ(1~9)

2016年9月12日より2017年2月28日までの期間において

【選挙管理委員会からのお知らせ】を掲載した。

#### 5) [ctfellow:17] 添付メールが確認できない事象についての報告（情報委員会）

#### 6) ホームページの更新

#### 7) 総括

前年度からの課題であった ML を当委員会で契約する管理サーバーに集約することができた。また，運用に関して支障が起きないように，ユーザー側においてもメールアドレスの変更やメーラー変更による改善を実施していただいた。

これまでサーバー変更など改善を行い，安定した運用を行っている。しかし現在の情報委員会メンバーは，HP 管理の実務経験者が無い方が半数を占めており，当初は，マニュアルに沿って指示を行っていたが，確認変更を行うことに時間をとられ最終的には7名中3名で実務を行う状況となってしまったことが大きな反省である。また，再構築したインターネットサイトロジーにデータ編集し完成させることが最も重要な課題である。

### 11. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

#### 1) 都道府県細胞検査士会代表者 ML

①定期連絡メール 12回

## ②臨時連絡メール 24回

- 2) 第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催と議事録作成
- 3) 第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催と議事録作成

## 12. 細胞検査士会あり方委員会

### 1) 細胞検査士意識調査と結果報告

調査項目は25項目、細胞検査士会HPで公開してWEB方式で実施した。回答率は15%前後で、会員の意見をある程度吸い上げることができた。会長、副会長にアンケート内容を送付して、今後の活動の参考になると思われた。アンケート結果は、あり方委員会で分析して、次年度に細胞検査士会HP、会報に掲載する予定

### 2) 総括

アンケート実施期間を1カ月延長したが、当初予定していた50%に届かなかった。都道府県代表者委員会MLや、細胞検査士会役員会での呼びかけを行ったがなかなか浸透出来なかった。今後は実施時期や、細胞検査士HPの閲覧を増やす方法などを考えて実施することも検討事項としてあげたい。

## 13. 精度保証委員会

### 1) 平成27年度地域支援「初心者細胞検査士養成ワークショップ」

平成28年6月5日(新潟)、参加人数40名

### 2) 第71回・72回細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議

平成28年7月9日(東京)、学術委員会・精度保証委員会

### 3) 第71回細胞検査士教育セミナーの実施協力

平成28年8月27日・28日(東京)

①セルフアセスメント(学術委員会・精度保証委員会連携事業)

②ワークショップ(細胞診と免疫染色)

### 4) 平成28年度細胞検査士養成ワークショップ 問題作成会議

平成28年9月2日(大阪)

### 5) 第72回細胞検査士教育セミナーの実施協力

平成28年9月5日・6日(神戸)

①セルフアセスメント(学術委員会・精度保証委員会連携事業)

②ワークショップ(細胞診と免疫染色)

### 6) 平成28年度細胞検査士養成ワークショップ

平成28年10月1日・2日(東京)、参加人数110名、精度保証委員会会議 今後の活動方針

### 7) 平成28年度細胞検査士養成ワークショップ

平成28年10月8日・9日(大阪)、参加人数98名、精度保証委員会会議 今後の活動方針

### 8) 総括

①細胞検査士教育セミナーセルフアセスメントスライドの活用についてスライド貸し出し

中止とする。それにともない、ホームページに解答正解率とともに、簡単な解説文を記載する方向で、学術委員会、情報委員会と協議中である。

②標本作製法(まとめ本)について

標本作製の色々を紹介，まとめる本（Web 利用）とする。役員にアンケートをお願いし，推奨の標本作製を色々，紹介してもらいたい。アンケート内容は検討中である。

③来年度の初心者細胞検査士ワークショップの開催地を募集中

④「標本作製本」の内容は決定したが，まだ，具体的に進行していない。

#### 14. 子宮頸がん検診委員会

##### 1) 運営部

①各都道府県委員の変更を確認し，平成 28 年度子宮頸がん検診委員会の委員名簿を作成した。

②第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）にて，子宮頸がん検診委員会を開催し，活動報告，活動計画，その他の検討事項等を審議して議事録を作成した。

③第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜），第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会（大分）において開催した啓発パネル展の掲示物の保管・配送を行った。

##### 2) 啓発部

①第 57 回日本臨床細胞学会春期大会（横浜）にて啓発パネル展示。

②第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会（大分）にて啓発パネル展示（市民向け展示を含む）

##### 3) 調査研究部

①第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）において，学会場での啓発パネル展示に Love49 活動の現況調査結果，一般市民向けアンケートの集計結果を展示報告した。

②第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）において，「子宮の日 全国アクション 2016 報告会」で，Love49 活動の現況調査と市民向けアンケートの集計結果を発表した。

③第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会（大分）において，Love49 活動の現況調査と市民向けアンケートの集計結果を展示報告した。

##### 4) その他

①がん検診委員会への変更

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（横浜）の子宮頸がん検診委員会にて，現在の子宮頸がん検診委員会から，がん検診委員会への変更を審議して決定した。平成 29 年度第 1 回役員会での審議に諮ることとする。

#### 15. 細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会

##### 1) 事業計画

①50 周年記念事業実施要綱を作成する。

②50 周年記念事業準備委員会で検討した事業を実現するための組織を作り，事業に関する具体的な企画等を引き継ぐ。

##### 2) 事業報告

①細胞検査士会創立 50 周年記念事業実施要綱を作成し，平成 28 年度第 1 回役員会にて承認。

②細胞検査士会創立 50 周年記念事業会の申し合わせ事項の作成，および 50 周年記念事業会，表彰選考委員会，実行委員会の組織化と役員を選出について，平成 28 年度第 1 回役員会にて検討，確認された。

③第 1 回細胞検査士会創立 50 周年記念事業会役員会議を開催。

平成 28 年 8 月 13 日，13 時 00 分～17 時 00 分，日本臨床細胞学会事務局（B2F）

議事録を平成 28 年度第 2 回役員会にて報告した。

④細胞検査士会創立 50 周年記念事業の賛助金趣意書を作成し、平成 28 年度第 2 回役員会にて報告。関連する企業・団体に配布を開始し、都道府県代表者委員会での定期メールを使用して代表者の皆様にも配布の協力を要請した。

⑤細胞検査士会創立 50 周年記念誌作成案を平成 28 年度第 2 回役員会にて報告した。

⑥細胞検査士会創立 50 周年記念事業功労賞の推薦依頼案を平成 28 年度第 2 回役員会にて報告。都道府県代表者委員会での定期メールを使用して、都道府県代表者に推薦依頼をお願いした。推薦期限は 2017 年 4 月 30 日。

⑦平成 28 年度第 1 回細胞検査士会創立 50 周年記念事業会全体会議を開催した。

平成 28 年 11 月 17 日、14 時 00 分～15 時 00 分、レンブラントホテル大分久住の間(2F) 議事録は、次年度役員会で報告予定。

⑧細胞検査士会創立 50 周年記念事業予算案の作成。

### 3) 総括

今年度の事業計画どおり、作成された実施要綱に基づき準備委員会から記念事業会、表彰選考委員会、実行委員会へのスムーズな引き継ぎと、より具体的な企画検討を進めることができた。委員皆様の献身的な取り組みの結果である。賛助金、広告料については、まだ目標額まで到達していないので、次年度の重要な事業計画として予算確保に力を入れていきたい。また、記念事業開催当日、多くの会員の皆様に参加していただけるよう、各企画をより一層アピールしていこうと考えている。引き続き、委員の皆様ならびに都道府県代表者の皆様には、益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成28年度(2016年)会計報告

収入の部

科目	決算額	備考
参加費	3,043,000	細胞検査士会ワークショップ
入会金、年会費	9,850,000	
郵送費、集金事務費	163,054	メテックテクノフーズ(賠償保険)
50周年記念事業寄付金	2,100,000	
前年度からの繰越金	40,828,329	*) 50周年記念事業準備金7,001,000円含む
収入合計	55,984,383	

\*)50周年記念事業準備金:検査士会記念準備金の口座へ移動  
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部

科目	委員会	本部	総務	情報	経理	管 理 費										事 業 費		
						庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	あり方	国際	精度保証	学術	合計			
通信運搬費		112,874	-	437,564		60,182	1,336,639	178,724	4,566	-	164	-	5,150	232	2,136,095			
旅費交通費		715,944	-	94,758		-	-	-	-	-	13,480	-	1,275,130	116,104	2,215,416			
印刷製本費		-	-	-		-	1,405,757	442,396	-	-	-	100,000	992,800	-	2,930,953			
消耗品費		26,969	-	-		3,747	46,761	-	-	-	11,820	-	3,796	7,298	100,391			
消耗什器備品費		-	-	-		2,320	55,738	-	-	-	-	-	11,946	-	70,004			
臨時雇賃金		190,000	-	-		-	-	-	-	-	-	-	43,086	-	233,086			
会議費		94,602	-	-		-	-	-	32,000	75,000	31,520	-	196,784	74,796	504,702			
委託費		-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
会場費		2,000	-	-		-	-	-	-	-	-	-	15,685	10,000	27,685			
交際接待費		53,460	-	-		1,620	-	-	-	-	-	-	-	-	55,080			
諸謝金		-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	642,003	377,118	1,019,121			
雑費		272,204	-	864		1,080	7,560	57,024	864	-	1,512	864	14,340	7,668	385,708			
*)記念事業準備金		3,000,000	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000,000			
a. 決算額		4,468,053	-	438,428	95,838	69,597	2,852,455	710,144	80,430	-	58,496	100,864	3,190,720	593,216	12,658,241			

科 目	金 額
収入の部	
今年度(2016年)総収入	15,156,054
前年からの繰越金	40,828,329
(うち記念事業分)	(7,001,000)
収入合計	55,984,383

以上の通り、平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の細胞検査士会会計報告をいたします。

支出の部	
管理費・事業費	12,658,241
(うち記念事業分)	(3,000,000)
支出合計	12,789,081
次年度繰越金	43,326,142
(うち記念事業分)	(11,928,546)

平成29年3月31日

細胞検査士会

会計担当

阿部 仁

同

会長

伊藤 仁



【平成28年3月28日】

## 【平成28年度監査報告】

# 監査報告書

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会  
会長 伊藤 仁 殿

平成 29 年 3 月 31 日  
公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会

監 事 上野 嘉三郎   
監 事 片岡 秀夫 

平成 28 年度 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の会計及び業務の監査を行いましたので、細胞検査士会監事 2 名の監査報告書を添えて報告いたします。監査・報告内容は以下の通りです。

以下の監査を行った。

- 1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算、書類が正確かつ適正であることを認めた。
- 2) 業務監査については、公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会役員会、各委員会及びその他の業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧を行った結果、業務執行が適正であることを認めた。

関係書類について

- 1) 細胞検査士会経理委員会が作成した収支決算書 (会計報告書) を閲覧し、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況、及び財政状況が正しく示されているものと認めた。
- 2) 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会の職務執行に関する不正の行為、又は、法令もしくは公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会諸規則に違反する重大な事実はないと認める。

補足事項

- ※繰越金については、有効な活用法を検討してほしい。
- ※予算案と決算額の乖離が大きくなるような予算案を作成してほしい。
- ※公益社団法人化に伴いこれまでの諸規則を更に検討してほしい。
- ※さらに公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会委員は、本来業務を持ちながら本会会員のために時間的・精神的に活動したことを認める。

以上

細胞検査士会  
平成 29 年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会  
細胞検査士会会長 伊藤 仁

## 1. 平成 29 年度細胞検査士会事業計画

### 1) 本部

【目的】会員の細胞学的知識の向上、技術の研鑽ならびに、公益社団法人日本臨床細胞学会事業に協力し、細胞検査士の社会的地位の確立を図ることにより社会への貢献を図る

### 【予定・計画】

- ①各委員会事業の計画、実施、進捗の管理 ②各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告 ④総会の開催（1 回/年以上）
- ⑤役員会の開催（2 回/年以上） ⑥委員長会議の開催（1 回/年以上）

### 【会の公益活動推進】

- ①『子宮の日』の活動をはじめとする会の公益活動において、その活動内容を公益社団法人日本臨床細胞学会に報告し理解を求め ②細胞検査士が主体となる新たな公益活動を実施する

### 【公益社団法人日本臨床細胞学会事業への協力】

- ①各種委員会会務への協力 ②細胞検査士ワークショップの協力 ③学術集会への協力
- ④細胞検査士資格認定試験実施の協力 ⑤細胞検査士養成事業協力

2) 総務委員会：委員会業務分担要綱に基づき、当会の円滑な運営に努める

3) 経理委員会：委員会業務分担要綱に基づき、会計に関する円滑な運営に努める

4) 庶務委員会：委員会業務分担要綱に基づき、庶務に関する円滑な運営に努める

5) 規約委員会：各委員会からの要望を受け、本法人規則類に準じて細胞検査士会規則類の議案作成を行い、役員会、総会の決議によって定められた規則類を管理する

### 6) 渉外委員会

- ①子宮の日の活動：2017Love49 全国プロジェクトと幟作成
- ②平成 28 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③子宮の日全国アクション-2017 報告会（日本臨床細胞学会総会；大阪）
- ④日本臨床細胞学会総会および秋期大会（5 月，11 月）におけるパネル展示
- ⑤がん患者大集会の会場協力
- ⑥細胞検査士会ホームページへの Love49 活動関連ページへの取り組み

### 7) 編集委員会：細胞検査士会会報発行

第 61 号（平成 29 年 7 月），第 62 号の発行（平成 29 年 12 月）

### 8) 学術委員会

- ①細胞検査士要望教育シンポジウム企画実行 ②ヤングコミティワークショップ計画実行
- ③わからん会計画 ④細胞検査士教育セミナー実施協力（セルフアセスメント）
- ⑤細胞検査士会 50 周年記念事業協力
- ⑥収益事業：細胞検査士生涯教育ワークショップ（2 回/年）

### 9) 国際委員会：2018 年 2 月 韓国 第 9 回日・台・韓細胞検査士合同セミナー

### 10) 情報委員会

- ①ctjsc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用  
役員会 ML への毎月の掲載内容の報告
- ②intercyto.com（インターネットサイトロジーHP）CMS システム保守及び運用  
正式公開と運用スケジュールの構築，管理メンバーと運用マニュアルの作成
- ③委員長会議，役員会会議，都道府県代表者会議メーリングリストの管理運営

- 11) 都道府県細胞検査士会代表者委員会
- ①平成 29 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
  - ②平成 29 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
  - ③平成 29 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
  - ④平成 29 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
- 12) あり方委員会：細胞検査士意識調査アンケート結果の会報及び細胞検査士 HP への掲載
- 13) 精度保証委員会
- ①地域支援ワークショップ「初心者細胞診講習」  
現在、「都道府県代表者委員会」を通じて、開催地を募集中
  - ②細胞検査士教育セミナーでのセルフアセスメントスライドを学術委員会と作成
  - ③セルフアセスメントスライドの公開を検討中（情報委員会、学術委員会との共同事業）
  - ④細胞診標本作製集の内容の決定（アンケートを検討中）
- 14) 子宮頸がん検診委員会
- ①第 58 回日本臨床細胞学会総会でパネル展示（啓発・調査）
  - ②第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会（50 周年記念事業）で検診関連のパネル展示
  - ③他関連団体（婦人科がん検診学会等）でパネル展示
  - ④一般市民向けにポスターを作成し、各都道府県で実施する啓発活動へ貸出
- 15) 細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会  
50 周年記念事業の予算確保と各企画の準備と実行
- 16) 50 周年記念事業：事業会、実行委員会、選考委員会
- ①記念式典・功労賞表彰（式典部、選考委員会）  
会場：福岡国際会議場国際会議室，平成 29 年 11 月 19 日（日）
  - ②市民公開講座=市民公開フォーラム（学術部）  
会場：日本臨床細胞学会秋期大会会場，平成 29 年 11 月 19 日（日）
  - ③細胞診と細胞検査士展（事業部）  
会場：福岡西鉄駅内のコンコース，イベントスペース・ライオン広場  
平成 29 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）
  - ④祝賀会（式典部）  
会場：福岡サンパレス，平成 29 年 11 月 19 日（日）
  - ⑤記念誌（編集部）  
上製本：有料，DVD 又は CD-R 等：無料

## 2. 平成29年度予算案

### 1) 細胞検査士会 (50周年記念事業を除く)

#### 公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成29年度(2017年)予算(案)

##### 収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,624,000	細胞検査士養成ワークショップ(10000円×160人)、初心者細胞検査士養成ワークショップ(4000円×40人)、ワークショップ 60人×8,000円×2回(参加者9割で計上)
入会金、年会費	10,789,740	*)50周年記念事業準備金3,000,000円含む
郵送費、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	13,563,740	

\*)50周年記念事業準備金:検査士会記念事業準備金口座へ移動  
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

##### 支出の部

委員会 科目	管 理 費											事業費		合計	
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	*)50周年記念事業準備金	精度保証		学術
通信運搬費	35,000	40,000	437,400	2,000	70,000	1,280,000	200,000		-	5,000	10,000	-	30,560	10,280	2,120,240
旅費交通費	606,000	140,000	-	100,000	-	-	30,000	-	25,000	20,000	100,000	-	840,000	200,000	2,061,000
印刷製本費	80,000	-	-	-	-	1,600,000	-	-	-	100,000	-	-	900,000	-	2,680,000
消耗品費	30,000	20,000	-	5,000	10,000	30,000	10,000	-	-	5,000	10,000	-	8,000	190,000	318,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	100,000	730,000	-	-	-	-	-	-	-	830,000
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140,000	60,000	200,000
会議費	124,000	44,000	-	20,000	-	-	40,000	104,000	10,000	20,000	20,000	-	210,000	44,000	636,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000	330,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	-	400,000	360,000	780,000
雑費	320,000	-	5,000	2,000	-	30,000	-	1,500	-	10,000	-	-	140,000	40,000	548,500
支払負担金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,000,000	-	-	3,000,000
合計	1,545,000	244,000	442,400	129,000	90,000	3,040,000	1,010,000	105,500	35,000	180,000	140,000	3,000,000	2,668,560	934,280	13,563,740
支出合計	13,563,740														

以上の通り、平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の細胞検査士会予算案を計上します。

平成29年1月22日 細胞検査士会 会計担当 阿部 仁

同 会長 伊藤 仁

2) 50周年記念事業のみ

細胞検査士会 創立50周年記念事業予算(案)

収入の部

科目	金額	備考
参加費	900,000	参加者300人×会費3,000円
記念誌販売収益	1,500,000	1,000円×1,500冊
賛助金	2,000,000	40社×50,000円
広告費	1,500,000	50社×30,000円
記念事業準備金口座より	11,431,440	
収入合計	17,331,440	

支出の部

委員会 科目	管理費					事業費		合計
	表彰選考委員会	実行委員会	会計	学術	事業	式典部	編集	
通信運搬費		20,000	20,000	-	-	500,000	2,620,000	3,160,000
旅費交通費		300,000	50,000	-	360,000	30,000	100,000	840,000
印刷製本費		-	-	-	90,000	100,000	6,237,000	6,427,000
消耗品費		-	-	-	130,000	-	-	130,000
消耗什器備品費		-	-	-	200,000	1,444,000	-	1,644,000
臨時雇賃金		-	-	-	-	-	-	-
会議費		60,000	20,000	-	30,000	26,000	48,000	184,000
会場費		-	-	-	300,000	2,500,000	-	2,800,000
委託費	856,440	-	-	-	300,000	-	-	1,156,440
接待交際費		-	-	-	-	-	-	-
諸謝金		-	-	-	90,000	-	-	90,000
雑費	50,000	-	-	-	100,000	-	50,000	200,000
市民公開講座		-	-	700,000	-	-	-	700,000
合計	906,440	380,000	90,000	700,000	1,600,000	4,600,000	9,055,000	17,331,440

  

支出合計	17,331,440
------	------------

以上の通り、細胞検査士会50周年記念事業予算案を計上します。

平成29年1月22日 50周年記念事業会 会計部長 阿部 仁  
50周年記念事業会 会長 伊藤 仁

3) 細胞検査士会 (50周年記念事業を含む)

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 平成29年度(2017年)予算(案)

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,624,000	細胞検査士養成ワークショップ(10000円×160人)、初心者細胞検査士養成ワークショップ(4000円×40人)、ワークショップ 60人×8,000円×2回(参加者9割で計上)
入会金、年会費口座より	7,789,740	
郵送料、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
参加費	900,000	50周年記念祝賀会参加者300人×会費3,000円
記念誌販売収益	1,500,000	1,000円×1,500冊
賛助金	2,000,000	40社×50,000円
広告費	1,500,000	50社×30,000円
記念事業準備金口座より	11,431,440	
収入合計	27,895,180	

\*)50周年記念事業準備金:検査士会記念事業準備金  
口座へ移動  
三菱東京UFJ銀行 店番013 口座番号 0514406

支出の部

科目	管 理 費											事業費			合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	50周年記念事業	
通信運搬費	35,000	40,000	437,400	2,000	70,000	1,280,000	200,000		-	5,000	10,000	30,560	10,280	3,160,000	5,280,240
旅費交通費	606,000	140,000	-	100,000	-	-	30,000	-	25,000	20,000	100,000	840,000	200,000	840,000	2,901,000
印刷製本費	80,000	-	-	-	-	1,600,000	-	-	-	100,000	-	900,000	-	6,427,000	9,107,000
消耗品費	30,000	20,000	-	5,000	10,000	30,000	10,000	-	-	5,000	10,000	8,000	190,000	130,000	448,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	-	100,000	730,000	-	-	-	-	-	-	1,644,000	2,474,000
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140,000	60,000	-	200,000
会議費	124,000	44,000	-	20,000	-	-	40,000	104,000	10,000	20,000	20,000	210,000	44,000	184,000	820,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30,000	2,800,000	3,130,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,156,440	1,156,440
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	400,000	360,000	90,000	870,000
雑費	320,000	-	5,000	2,000	-	30,000	-	1,500	-	10,000	-	140,000	40,000	200,000	748,500
市民公開講座	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	700,000	700,000
合計	1,545,000	244,000	442,400	129,000	90,000	3,040,000	1,010,000	105,500	35,000	180,000	140,000	2,668,560	934,280	17,331,440	27,895,180

支出合計	27,895,180
------	------------

以上の通り、平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の細胞検査士会予算案を計上

平成29年1月22日 細胞検査士会 会計担当 阿部 仁

同 会長 伊藤 仁

3号

議案：監事の選任

その他

V. 閉会